

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会

平成27年12月16日 14:00～19:20

(開会)

(基金事業課長から開会の説明)

- ・小松委員、柴田委員が欠席。
- ・本日の流れ
 - ・ 2時40分から平成28年度ボランティア団体成長支援事業のプレゼンテーション審査、続いてプレゼンテーション内容などをもとに選考審査。
 - ・ 4時から結果発表
 - ・ 4時20分から平成27年度ボランティア活動奨励賞の選考審査。
 - ・ 6時から、「その他」として、基金21の今後の方向性などについて討議。

(審査会長から開会の宣言)

- ・平成27年度第6回ボランティア活動推進基金審査会を開催。
- ・率直なご意見をいただき公平な審査をする必要があるため、神奈川県情報公開条例第25条第1項第1号及び第2号に該当するため非公開。
- ・3階で行われるプレゼンテーション審査は公開。

(審議事項1 平成28年度ボランティア団体成長支援事業の選考)

(基金事業課長から以下について説明)

- ・ボランティア団体成長支援事業の応募状況(資料2)。
- ・ボランティア団体成長支援事業の審査スケジュール(資料1)。
- ・来年度ボランティア団体成長支援事業予算について。
- ・プレゼン審査の流れについて。
- ・提案団体と利害関係のある委員なし。

(事務局から以下について説明)

- ・プレゼン審査対象団体の提案概要(資料2)。
- ・プレゼン審査対象団体と幹事との利害関係について。

(委員による審議)

- ・ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審

査時の確認事項について検討した。

(プレゼンテーション審査)

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審査を行った。

(委員による審議)

- ・ ボランティア団体成長支援事業への提案事業に対するプレゼンテーション審査の結果を受け、選考の可否等を審議し、選考した。
- ・ 担当委員の間で、結果発表の際のコメントを作成した。

(結果発表)

【長坂会長】 発表させていただきます。

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター「ボランティア団体の活動基盤づくりと成長のための地域アセスメント（地域診断）力支援事業」についてですが、今回は本当に申し訳ありませんが、採択できませんでした。

理由については担当の委員から述べさせていただきます。よろしく申し上げます。

【基金事業課長】 「ボランティア団体の活動基盤づくりと成長のための地域アセスメント（地域診断）力支援事業」について佐藤委員をお願いします。

【佐藤委員】 今回は残念ながら不採択ということになりましたが、多くのボランティア団体にとって、分析・評価というかアセスメントが必要なことは確かです。ここにいるメンバー、私も含め、NPO・NGOの活動に携わっています。いろんなNPOを見ていて、評価をしていけばもっと伸びるのになと感じることも多く、必要であることは理解できました。いままで例のない中間支援の手法というところで、ただ、アセスメントツール等も含めて具体的な内容が、プレゼンでは見えなかったなあというところがありまして、福祉の分野では高いスキルをお持ちで、経験もお持ちなんだろうなあという風には思ったが他の分野で、どれだけのことができるのかが短いプレゼンの中では見えてこなかった。

ぜひ、重要な活動であると思うので少しでも実績を作っていて、結果を出していただいて、それをプレゼン内容に盛り込んで再チャレンジしていくような前向きなものとして捉えていただきたい。極端な一例ですけども、福祉の分野では高い知識と経験があると思いますので、その分野に特化して実績を

作って、そこでプレゼンに内容を盛り込んでいくというのができるようなプレゼンでまたチャレンジしていただきたい。以上。

【基金事業課長】 ありがとうございます。最後に全体の講評を長坂会長からお願いします。

【長坂会長】 今年は2件の団体から申請いただいた。その中でお忙しい中プレゼンにお越しいただいたのがっかりさせて申し訳ありませんでした。

みなさんは福祉関係・公共サービスの分野で、知見と経験とツールをお持ちなのがよくわかりました。私たちの事業の対象は、市民社会であり、まさにボランティア団体の支援。そのためにしっかりとした中間支援組織があって、その弱いが可能性をいっぱい持っている市民団体を如何に活性化していくかということのためのもの。そういう点でみなさんが今日プレゼンテーションしていただいて、私どもからも時間オーバーしながらいろんな質問をさせていただいた。本音をいえば、失礼な言い方になるかもしれませんが、できたら採択したいなあという気持ちがあったので長時間になった、と思って容赦していただきたい。しかし持ってらっしゃる知見と経験の中のツールが、私たちが対象とするボランティア団体、市民社会の中の任意の活動を活性化し、力強くさせるつなぎ目のところがどうしてもわからなかったのです。委員によってそれぞれ主観が違うと思うが、私にとってはそこが非常に残念でした。そのところを一度、じっくりと伴走されてその中から生み出されてくると、きっとお答えの迫力が、私たちにリアリティのあるものがきっといただけたのではないかと感じています。

前のあいさつのときに申しあげましたが、中間支援団体の手法自体も開発されなければなりませんし、それ自身ももっともっと力強いものにならないと日本の市民社会それ自身も力強いものにならないので、そういう意味での新しい手法が、開発しようとしている意欲があるというところを私たちとしては歓迎しますし、新しい手法を開発されてまた、次回なり次々回なりに力強い申請をしていただけることを心から期待しております。今日は申し訳ありません。ありがとうございます。

【基金事業課長】 これで公開プレゼンテーション結果発表は終了させていただきます。

（審議事項2 平成27年度ボランティア活動奨励賞の選考）

(基金事業課長から以下について説明)

- ・ ボランティア活動奨励賞の推薦状況（資料3）。
- ・ ボランティア活動奨励賞の審査・表彰スケジュール（資料1）。
- ・ 副賞の予算について。
- ・ 被推薦者と利害関係のある委員なし。

(事務局から以下について説明)

- ・ 奨励賞の審査のポイント
- ・ 幹事による採点結果、幹事会で出た主な意見、資料の見方など（資料4、資料5）

(委員による審議)

- ・ 中島委員から幹事会での議事概要について報告
- ・ 副賞の金額は従来と同額とすることで合意
- ・ 過去に負担金・補助金の交付を受けた団体を表彰することについて事務局から補足説明あり。
- ・ 審議の結果、特定非営利活動法人やさしくなろうよ、こども邦楽育成会、特定非営利活動法人地球の木、特定非営利活動法人森ノオト及びNPO法人教育支援グループEd.ベンチャーの5者を選考した。

(その他)

(副所長から以下について説明)

- ・ 基金21事業の今後の方向性、協働事業負担金（課題部門）の見直し

(委員による意見交換)

(閉会)

- ・ かながわ県民活動サポートセンター所長からあいさつ。
- ・ 次回審査会日程（2月3日）。